

四 半 期 報 告 書

(第36期第1四半期)

自 2020年3月1日

至 2020年5月31日

株式会社メディカルー光グループ

四半期報告書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社メディカルー光グループ

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
3 【経営上の重要な契約等】	4
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	14
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	15

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2020年7月14日

【四半期会計期間】 第36期第1四半期（自2020年3月1日至2020年5月31日）

【会社名】 株式会社メディカルー光グループ

【英訳名】 Medical Ikkou Group Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 南野 利久

【本店の所在の場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059-226-1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役 櫻井 利治

【最寄りの連絡場所】 三重県津市西丸之内36番25号

【電話番号】 059-226-1193（代表）

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務取締役 櫻井 利治

【縦覧に供する場所】 株式会社メディカルー光グループ 東京支店
（東京都港区六本木一丁目4番5号 アークヒルズサウスタワー3階）

株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期 連結累計期間	第36期 第1四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2020年3月1日 至 2020年5月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	8,099,040	7,823,457	32,042,454
経常利益 (千円)	338,838	164,450	1,225,378
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	218,101	142,675	801,993
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	176,957	124,712	771,480
純資産額 (千円)	9,652,648	10,209,858	10,170,924
総資産額 (千円)	27,250,715	25,601,488	26,193,649
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	114.41	74.84	420.73
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	35.4	39.9	38.8

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

連結子会社でありました株式会社メディケアサポート及び有限会社ツルカメ調剤薬局は、2020年3月1日付で、連結子会社である株式会社メディカルー光を存続会社として合併いたしました。

この結果、2020年5月31日現在では、当社グループは、当社、連結子会社10社及びその他の関係会社1社により構成されております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

① 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞、個人消費の低迷などにより、年初よりの景気の先行きは一変し、その影響の予測は極めて厳しい状況にあります。

このよう環境のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大に対し感染防止の対策を行い、患者様、利用者様、ならびに当社グループ社員の安全確保に取り組み、事業への影響を最小限に抑えるべく必要な対応を行っております。

調剤薬局業界におきましては、2019年11月に可決された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)により、薬局の認定制度導入、服薬指導の強化が示されるなど、薬局、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化しております。当社グループは、安全性を最優先とし、薬剤師が期待される役割を果たし地域社会から信頼される薬局づくりに取り組んでおります。ヘルスケア事業におきましては、介護サービス利用者の増加に伴い、多様化するニーズに応える事業展開を行うとともに、安定的な介護人材の確保および介護サービスの質の向上に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高7,823百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益169百万円(前年同期比49.7%減)、経常利益164百万円(前年同期比51.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益142百万円(前年同期比34.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大により、医療機関を受診する患者数が減少しており、処方箋応需枚数が減少するなどの影響を受け、減収減益となりました。この結果、売上高は5,580百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益257百万円(前年同期比35.3%減)となりました。なお、当第1四半期末における当社グループの調剤薬局は合計93店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、有料老人ホーム等の継続的な入居者確保を推進しておりますが、訪問介護、通所介護におきまして、感染リスクを懸念した一部利用者の利用控えが影響し、前年を下回りました。この結果、売上高1,536百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益46百万円(前年同期比27.4%減)となりました。なお、当第1四半期末における当社グループの居住系介護施設は28施設、1,025床となっております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2020年4月に実施されました薬価改定の影響、ならびに新型コロナウイルス感染症の影響で、営業活動が一部制限されたこと等により減収減益となりました。この結果、売上高648百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益16百万円(前年同期比42.7%減)となりました。(内部売上を含む売上高は889百万円となり、前年同期比で6.4%減少しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高57百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益28百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益83百万円を計上しております。

② 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は25,601百万円となり、前連結会計年度末と比較して592百万円減少いたしました。

流動資産の合計は11,826百万円となり、前連結会計年度末と比較して356百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が256百万円、売掛金が77百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産の合計は13,774百万円となり、前連結会計年度末と比較して235百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が207百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は15,391百万円となり、前連結会計年度末と比較して631百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が157百万円増加し、短期借入金及び長期借入金(1年内返済予定を含む)が319百万円、未払法人税等が205百万円、買掛金が204百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は10,209百万円となり、前連結会計年度末と比較して38百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が56百万円増加したこと等によるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年7月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,035,000	2,035,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,035,000	2,035,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	—	2,035,000	—	917,000	—	837,050

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年2月29日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 128,800	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,905,900	19,059	—
単元未満株式	普通株式 300	—	—
発行済株式総数	2,035,000	—	—
総株主の議決権	—	19,059	—

② 【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社メディカルー光 グループ	三重県津市西丸之内36番25号	128,800	—	128,800	6.32
計	—	128,800	—	128,800	6.32

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,694,164	5,437,214
売掛金	4,660,787	4,583,308
商品	1,141,289	1,120,696
その他	690,571	688,908
貸倒引当金	△3,282	△3,313
流動資産合計	12,183,529	11,826,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,309,768	6,231,322
土地	3,158,317	3,193,802
その他（純額）	518,720	533,696
有形固定資産合計	9,986,805	9,958,822
無形固定資産		
のれん	1,209,292	1,162,205
その他	164,195	156,836
無形固定資産合計	1,373,488	1,319,042
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,689	941,737
敷金及び保証金	739,583	753,938
その他	760,553	801,133
投資その他の資産合計	2,649,826	2,496,809
固定資産合計	14,010,120	13,774,674
資産合計	26,193,649	25,601,488
負債の部		
流動負債		
支払手形	38,978	49,100
買掛金	3,332,745	3,128,078
短期借入金	35,000	65,000
1年内返済予定の長期借入金	3,099,860	2,997,675
未払法人税等	345,354	139,553
賞与引当金	219,351	376,940
その他	928,659	866,162
流動負債合計	7,999,950	7,622,510
固定負債		
長期借入金	6,777,703	6,530,189
リース債務	265,165	256,295
退職給付に係る負債	595,389	611,659
その他	384,516	370,975
固定負債合計	8,022,774	7,769,119
負債合計	16,022,724	15,391,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	8,572,458	8,629,355
自己株式	△280,002	△280,002
株主資本合計	10,046,505	10,103,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,134	99,492
退職給付に係る調整累計額	9,283	6,962
その他の包括利益累計額合計	124,418	106,455
純資産合計	10,170,924	10,209,858
負債純資産合計	26,193,649	25,601,488

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	8,099,040	7,823,457
売上原価	7,188,409	7,104,760
売上総利益	910,631	718,697
販売費及び一般管理費	573,528	549,076
営業利益	337,102	169,620
営業外収益		
受取利息	274	377
受取配当金	310	327
受取保険金	—	17,463
助成金収入	8,392	3,184
その他	8,218	6,108
営業外収益合計	17,195	27,460
営業外費用		
支払利息	14,815	13,099
損害賠償金	—	17,468
その他	644	2,062
営業外費用合計	15,459	32,631
経常利益	338,838	164,450
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	9,881	83,972
補助金収入	32,000	—
特別利益合計	41,881	83,972
特別損失		
固定資産売却損	43	—
固定資産除却損	3,567	0
固定資産圧縮損	32,000	—
投資有価証券売却損	—	2,517
賃貸借契約解約損	1,000	—
特別損失合計	36,610	2,517
税金等調整前四半期純利益	344,108	245,904
法人税、住民税及び事業税	186,981	152,400
法人税等調整額	△60,974	△49,170
法人税等合計	126,007	103,229
四半期純利益	218,101	142,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,101	142,675

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	218,101	142,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,489	△15,642
退職給付に係る調整額	△654	△2,320
その他の包括利益合計	△41,143	△17,963
四半期包括利益	176,957	124,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,957	124,712

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった株式会社メディケアサポート及び有限会社ツルカメ調剤薬局は、連結子会社である株式会社メディカルー光と合併したため、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループの店舗、事業所等の営業は通常通り行っておりますが、政府による「緊急事態宣言」が解除されたものの、外出自粛等の影響は当面続くものと思われま。

当社グループ事業への影響は各事業によってその影響度は異なり、当連結会計年度中は影響を受けますが、第2四半期以降徐々に回復していくものと想定して、固定資産の減損会計等の会計上の見積りをしております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染状況によっては想定と異なり損失が発生する可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	154,561千円	149,718千円
のれんの償却額	47,976千円	47,086千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 取締役会	普通株式	76,247	40.00	2019年2月28日	2019年5月7日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 取締役会	普通株式	85,778	45.00	2020年2月29日	2020年5月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,799,540	1,537,889	702,968	58,642	8,099,040	—	8,099,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	91	246,665	720	247,476	△247,476	—
計	5,799,540	1,537,981	949,633	59,362	8,346,516	△247,476	8,099,040
セグメント利益	398,103	63,868	28,055	33,601	523,629	△186,526	337,102

(注) 1 セグメント利益の調整額△186,526千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用206,818千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,580,823	1,536,263	648,618	57,752	7,823,457	—	7,823,457
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	240,648	540	241,188	△241,188	—
計	5,580,823	1,536,263	889,267	58,292	8,064,646	△241,188	7,823,457
セグメント利益	257,500	46,387	16,065	28,922	348,876	△179,256	169,620

(注) 1 セグメント利益の調整額△179,256千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用347,868千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間の期首に、当社の連結子会社である株式会社ハピネライフー光の事業の一部を会社分割し、同じく連結子会社である株式会社ヘルスケア・キャピタルへ承継いたしました。

この組織再編に伴い、当第1四半期連結会計期間から、従来「ヘルスケア事業」に属していた賃貸不動産管理事業を「不動産事業」に移管しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分により作成したものを記載しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1 株当たり四半期純利益	114円41銭	74円84銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	218,101	142,675
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	218,101	142,675
普通株式の期中平均株式数(株)	1,906,183	1,906,183

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

2020年3月26日開催の取締役会において、2020年2月29日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|----------------------|-----------|
| ① 配当金の総額 | 85,778千円 |
| ② 1株当たりの金額 | 45円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 2020年5月1日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月14日

株式会社メディカルー光グループ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 田 誠 司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 牧 野 秀 俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社メディカルー光グループの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社メディカルー光グループ及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。